

心房細動のカテーテルアブレーションのために受診経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター麻酔科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

全身麻酔下パルスフィールドアブレーションにおける、カテーテル先端の安定性への高頻度低換気量換気の有用性の検討

【研究の目的】

この研究は、心臓の不整脈を治療するカテーテル治療の際に、呼吸のしかたを工夫することで、治療用の細い管（カテーテル）をより安定して動かせるかどうかを調べることを目的としています。

呼吸による体の動きが少なくなる方法を用いた場合に、治療がより安全で正確に行えていたかを確認します。

【対象となる方】

当院循環器内科で不整脈の治療を行われた患者さんで、2024年8月22日から2025年11月27日の間に全身麻酔でカテーテルアブレーションを受けた方

【使用する検体・診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

カルテ情報：

診断名、年齢、性別、身長、体重、カテーテル治療中のカテーテル先端の移動距離、カテーテル後の不整脈の経過、使用薬剤など

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長許可日〔2026年2月28日〕から2026年2月8日まで実施され、28名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【データの保管】

この臨床研究によって得られたデータは、鍵やパスワードなどで保護し、第三者へ漏洩することがないよう厳重保管され、研究の中止あるいは終了後5年または最終公表3年のいずれか遅い日まで保管されたのち、適切に廃棄されます。

【結果の公表】

この研究の研究成果は麻酔科学会で発表予定、麻酔科の雑誌に投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 麻酔科 齋藤 朋之（准教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 麻酔科 担当者：大沢 亮介（レジデント）

電話番号：048-965-4948（医局直通） 月-金曜日 9:00-17:00

以上